

次の文に、現代語訳を参考にして訓点を施せ。但しすべての漢字にふりがなを付けること。

東陽劉寵字道弘、居於湖熟、
每夜門庭自有血數升、不知所從
來。如此三四。後寵爲折衝將軍、
見遣北征、將行、而炊飯盡變爲
蟲。其家人蒸炒、亦變爲蟲。其
火愈猛、其蟲愈壯。寵遂北征、
軍敗於壇邱、爲徐龕所殺。

(現代語訳) 東陽の劉寵、字は道和が、湖熟に住んでいた頃、每晚門の庭に数升の血が自然に流れてきて、どこから来たものともわからなかった。このようなことが三、四回あった。後に寵は折衝將軍となり、北方の遠征に派遣されることになったが、出発しようとするとき、飯を炊くとみな虫に変わってしまった。家人が蒸したり炒めたりしても、やはり虫に変わった。その火を激しくすればするほど、虫もますます勢いが激しくなった。寵はそのまま北方に遠征したが、軍は壇邱で敗れ、徐龕に殺されてしまった。

(注) 東陽……地名 劉寵……人名 字は道和。 湖熟……地名 折衝
將軍……官名。「折衝」は「敵を打ち破る」意。「將軍」は軍の司令官。 見遣
北征……ここでの「見」は受け身。 愈、愈……「いよいよ、いよいよ
」と読む。「」すればするほど」の意。 壇邱……地名。 爲徐龕所殺…
…ここでの「爲」は受け身。 徐龕は人名。